

製品名: GHRH-R ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab11439**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	47kDa

抗原情報

遺伝子名	GHRHR
別名	GHRHR; Growth hormone-releasing hormone receptor; GHRH receptor; Growth hormone-releasing factor receptor; GRF receptor; GRFR
遺伝子 ID	2692.0
SwissProt ID	Q02643
免疫原	抗血清はヒト GHRHR 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 351-400

背景

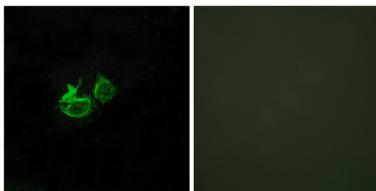
この遺伝子は、成長ホルモン放出ホルモンの受容体をコードしています。このホルモンが受容体に結合すると、成長ホルモンが合

成・放出されます。この遺伝子の変異は、低身長を特徴とする疾患であるシンド性小人症としても知られる、成長ホルモン単独欠損症 (IGHD) と関連付けられています。[RefSeq 提供、2010 年 6 月],疾患: GHRHR の欠陥は、下垂体性小人症 I としても知られる成長ホルモン単独欠損症 IB 型 (IGHD IB) [MIM:262400]の原因です。IGHD IB は、低身長を引き起こす常染色体劣性成長ホルモン欠乏症です。機能: アデニル酸シクラーゼを活性化する G タンパク質と共役する GRF 受容体。成長ホルモン分泌細胞の成長、成長ホルモン遺伝子の転写および成長ホルモンの分泌を刺激します。類似性:G タンパク質共役受容体 2 ファミリーに属します。組織特異性:下垂体。、

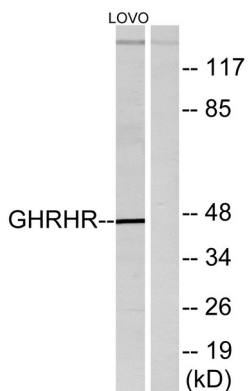
研究分野

神経活性リガンド-受容体相互作用;

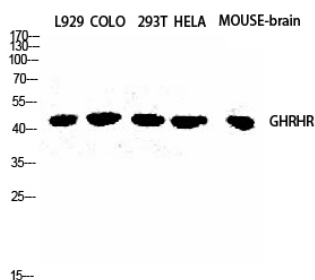
画像データ



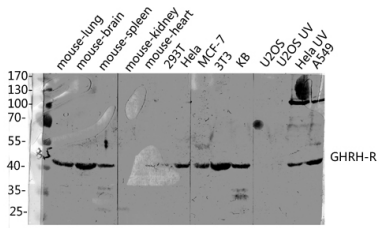
GHRHR 抗体を用いた HUVEC 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



GHRHR 抗体を用いた LOVO 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



1: 2000 希釈の GHRH-R ポリクローナル抗体を用いた L929 COLO 293T HELA マウス脳細胞のウェスタンブロット解析



GHRH-R ポリクローナル抗体（1：2000 希釈）を用いた様々な溶解液のウェスタンブロット解析。二次抗体は1：20000 に希釈した。